

耳鼻咽喉科学

責任者・コーディネーター	耳鼻咽喉科学講座 佐藤 宏昭 教授		
担当講座・学科(分野)	耳鼻咽喉科学講座		
担当教員	佐藤 宏昭 教授、米本 清 非常勤講師、石島 健 非常勤講師、佐藤 護人 非常勤講師、新川 秀一 非常勤講師、鎌田 喜博 非常勤講師、河嶋 寛 非常勤講師、大森 孝一 非常勤講師、福田 宏治 講師、志賀 清人 教授		
対象学年	4	区分・時間数	講義 25.5 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

耳鼻咽喉科学は生命維持に重要な気道や嚥下を扱うと同時に、ヒトの高次な精神活動に必要な聴覚・言語というコミュニケーションに関わる器官も扱う。このような領域の障害を究明し、機能と形態の修復を図り、さらに予防を目指す学問である。

・一般目標（GI0）

耳鼻咽喉科学の教育目標は次の3項に要約される。

1. 耳鼻咽喉科学及び関連領域における基礎的知識を習得する。
2. 臨床医学全般の中における耳鼻咽喉科学の位置、他科との関連性を認識する。
3. 上記を通じて医学および医療の本質を体得し、医学研究者、医学教育者ならびに実地臨床医師となる将来の研究の基盤を培う。

・到達目標（SB0）

1. 耳鼻咽喉科・頭頸部領域の臨床的解剖事項およびその機能を説明できる。
2. 聴覚検査、平衡機能検査、嗅覚検査、味覚検査など耳鼻咽喉科・頭頸部領域の主たる検査法と、その検査結果から障害の病態などを説明できる。
3. 耳鼻咽喉科・頭頸部領域の主たる疾患をあげ、その病態、診断、治療など疾患に関わる一般的な知識を説明することが出来る。

・講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/3	火	3	耳鼻咽喉科学講座	佐藤 宏昭 教授	聴覚生理
4/3	火	4	耳鼻咽喉科学講座	佐藤 宏昭 教授	難聴をきたす疾患
4/10	火	3	耳鼻咽喉科学講座	佐藤 宏昭 教授	中耳炎、耳硬化症
4/10	火	4	耳鼻咽喉科学講座	佐藤 宏昭 教授	人工内耳
4/17	火	3	耳鼻咽喉科学講座	米本 清 非常勤講師	聴覚検査
4/17	火	4	耳鼻咽喉科学講座	福田 宏治 講師	顔面神経麻痺
4/24	火	3	耳鼻咽喉科学講座	石島 健 非常勤講師	身体平衡生理
4/24	火	4	耳鼻咽喉科学講座	石島 健 非常勤講師	めまいをきたす疾患
5/8	火	3	耳鼻咽喉科学講座	佐藤 護人 非常勤講師	鼻アレルギー
5/8	火	4	耳鼻咽喉科学講座	志賀 清人 教授	鼻副鼻腔疾患・腫瘍
5/15	火	3	耳鼻咽喉科学講座	新川 秀一 非常勤講師	中耳手術、合併症
5/15	火	4	耳鼻咽喉科学講座	福田 宏治 講師	唾液腺疾患、気道食道異物
5/22	火	3	耳鼻咽喉科学講座	志賀 清人 教授	喉頭疾患・腫瘍
5/22	火	4	耳鼻咽喉科学講座	志賀 清人 教授	口腔咽頭疾患・腫瘍

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/28	月	3	耳鼻咽喉科学講座	大森 孝一 非常勤講師	音声障害
6/5	火	3	耳鼻咽喉科学講座	鎌田 喜博 非常勤講師	嚥下障害
6/5	火	4	耳鼻咽喉科学講座	河嶋 寛 非常勤講師	気管切開

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 3版	鈴木淳一 他著	医学書院	1997
推	Otolaryngology and Head and Neck Surgery (Oxford Specialist Handbook)	Warner G, Burgess A, et al	Oxford University Press	2009
参	Physiology of the Ear 2nd ed.	Jahn AF, Santos-Sacchi J	Singular	2001
参	Management of Head and Neck Cancer : a multidisciplinary approach 2nd ed.	Million RR, Cassisi NJ	Lippincott	1994
参	Head and Neck Surgery and Oncology 4th ed.	Jatin S, Patel S, Singh B	Mosby	2012

・成績評価方法

筆記試験 80%、出席点 20%

・特記事項・その他

1. 講義は総論と各論に大別せず、耳、鼻、咽、喉、頭頸のそれぞれについて構造と機能、検査法、疾患の順に述べる。
2. 講義では主要なことを重点的に講義するので適当な教科書、参考書で知識を整理することが必要である。
3. 講義は教授、助教授、講師（非常勤を含む）、助教が分担して行う。
4. 講義の具体的内容は講義日程表通りである。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
	純音オーディオメータ	4	聴力検査実習
	自記オーディオメータ	1	聴力検査実習
	インピーダンスオーディオメータ	1	聴力検査実習
	誘発電位検査装置	1	ABR（聴性脳幹反応）検査
	誘発反応測定装置	1	ASSR（聴性定常反応）検査
	耳音響放射測定装置	2	内耳機能検査
	音叉	3	聴力検査
	電気眼振計	1	平衡検査
	視運動性眼振計	1	平衡検査
	赤外線眼振画像 TV 装置（IEM-2）	1	平衡検査
	耳鼻咽喉科診療ユニット	4	耳鼻咽喉科診察実習
	ビデオ鼻咽喉スコープ	3	耳鼻咽喉科診察実習
	ファイリングシステム	3	耳鼻咽喉科診察実習

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
	ビデオ感音難聴とその成因 1) 上顎腫瘍手術 2) 喉頭腫瘍手術 3) 気管切開手術	4	手術他供覧
	ビデオ装置	1	代表的疾患の供覧
	模型	4	耳、鼻、咽喉頭の解剖理解のため
	パソコン一式 (Dimension9200)	1	講義資料作成